

人の心を感じ、真の友情へ

～災害や歴史から学ぶもの～

1年生の生活も残すところ、2か月となりました。もうすぐ後輩たちが入学しますね。1年生の皆さんが、おおくの森中学校の一員として、「自律」を目指し、自ら考え、主体的に行動する姿を見ることができ、喜ばしく思います。

月まい 9 けも なく 困大のけ 外日じ国だ
震を国す。と日でじ心れて の、をるで
地震大まるかかをり生生 辺震こ訪学
島被害いめうだみやがは 周大のをを
半な災て諦よ族しい神で。寺東ん地観
登大はっにし民悲思精人す。草関さ光値
能基本負びでたや、の一で浅、く観価
たも日をたげけみしいはも、つた、な
し町、クるな長し像合人く辺2、た様
生登めスこはに苦想けてい周のきま多
発能じり起れとのを助して一ち赴、
にるはのがそこ心さ、決きりうにすら、
日あを害害。るの強そ。生ツの地まか
1で災災災すき人のこかてイ災土いり
月市震然はま生。人らうっ力震る思わ
1都大自本いてすたかよ合ス大わと関
年妹本の日てつまえたしえ京3関いの
昨姉日く、げ合え越きで支東、にしと
、と東多し遂け考りてい。のは災ほ々
て雨。かを助と乗しなん回で震て方
の豪たれし興がかをにはせ今習大っのい。
のしわ 復民い難切でま 学本取人さ

・運。く 持と
任ですくづ を習
責ままか間 任学
・後い暖仲 責外
律最てにる は校
自としようえ にる
～間味よ合 めあ
生仲意のりすた動
托もを族語まの感
蓮てと家でいそ、
一くこ、音て、む
「悪るえ本しし育
マもす越、待律を
一て動りい期自情す。
テく行乗合をが友ま
た良にをめとりのい
えが緒壁認こと真て
考果一のをるひ。っ
で結、達方な人る願
んはし友えと一すを
さ」にや考助ん動と
な～共スな一さ行こ
み動をう様の皆てる
感命ク多り っな

前川 秀幸